

#### 4 小中学校の標準服を市内の企業で

田中貞男議員の「小中学校の標準服を市内の企業で」のご質問にお答えいたします。

本市の事業者の手袋の縫製技術は日本一であり、議員ご質問のとおり、その日本一の縫製技術をいかし、また、その技術を継承していくことは重要であると考えております。

令和7年4月から順次着用している新しい通学用の服は、多様性に配慮し、季節の変化、着心地など、機能性に留意したブレザータイプとなっております。特定のメーカーを指定するものではございませんが、日本手袋工業組合に確認したところ、手袋と通学用の服では、生地の厚みの違いや、縫製機械の違いにより、そのまま事業移行するのは容易ではなく、また、供給するロット数が少ない場合は、新規の事業化も困難であると聞き及んでおります。

市といたしましては、事業者が市内において事業所の設立や新規事業への移行、また、設備投資をする場合には、既存の企業立地促進事業や地域経済循環創造事業などの制度により支援を図るとともに、市内事業者の様々な技術をいかせる分野について、関係機関と対話を進めてまいります。

以上、田中貞男議員のご質問に対する答弁といたします。